

平成27年度 予算編成方針

1 平成27年度予算編成にあたって

<本市の財政状況と行政課題>

本市の経済は、基調としては緩やかに回復しているものの、そのペースは幾分鈍化しており、今後の状況は決して楽観できるものではない。

こうした中、本市の財政状況を見通すと、市税収入等の主要な一般財源の大幅な伸びが期待出来ない中、福祉・医療関係経費の伸びや老朽化した公共施設の改修・更新経費の増加が見込まれるなど、本市財政を取り巻く環境は引き続き厳しいことが予想される。

加えて、「女性・若者の定着」や「魅力的な地域を創生するための取組み」など、本市の将来の発展に関わりのある喫緊の課題や社会経済状況の変化に伴う多様な行政需要にも対応していかなければならない。

<人にやさしく活力あるまちの実現>

このように厳しい状況にありながらも、本市の魅力を高め、人や企業が集まる元気なまちを実現させていくため、「元気発進！北九州」プランを着実に推進していく。

また、本市が、「地方創生の成功モデル」となることを目指していくため、市役所だけでなく、経済界・大学などの民間も含めた「オール北九州」で、心を一つにしてスピード感をもって「地方創生」に取り組んでいく。

一方で、行財政運営の基本方針である「北九州市行財政改革大綱」に基づき、より一層の「選択と集中」を図りながら、持続可能で安定的な財政の確立、維持にも努めていく必要がある。

平成27年度は、この本市の更なる発展等のための政策の推進と持続可能で安定的な財政運営の両立を図っていくため、以下の3つの視点を踏まえ、予算編成に取り組む。

(1)「元気発進！北九州」プランの着実な実現

「元気発進！北九州」プランに掲げた7つの分野を「全市を挙げて積極的に取り組む戦略分野」として着実に実現すること。

（２）特に重点的に取り組むべき５つの政策の速やかな着手・実行

平成２７年度は、特に重点的に取り組むべき政策として、下記の５つを掲げているため、これらにかかる各種政策の速やかな着手、実行を図ること。

【特に重点的に取り組むべき５つの政策】

- ①人にやさしい高齢・少子対策の加速
- ②街には活力。更なる成長（※）
- ③国の「地方創生」との連携（※）
- ④世界の環境首都をめざした環境未来都市の創造
- ⑤防災・防犯など安全・安心なまちづくり

（※）なお、下線の項目については、早期の取組みを図る観点から、国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に新たに盛り込まれた、「**地域住民生活等緊急支援のための交付金（「地域消費喚起・生活支援型」と「地方創生先行型」の２種類）**」等を活用し、平成２６年度補正予算への可能な限りの前倒し計上を行うこと。

（３）持続可能で安定的な財政の確立と維持

厳しい財政状況の中、多様な行政需要に対応しつつ、持続可能で安定的な財政を確立、維持していくため、「北九州市行財政改革大綱」に基づく持続的な仕事の見直しなど、歳入・歳出両面にわたる収支改善の取組みを継続すること。

「北九州市行財政改革大綱」の改革の柱

- ①簡素で活力ある市役所の構築
- ②外郭団体改革
- ③官民の役割分担と持続的な仕事の見直し
- ④公共施設のマネジメント

２ 平成２７年度予算編成にあたっての留意事項

平成２７年度予算編成にあたっては、国において、「まちづくり、ひとづくり、しごとづくり」を目指す「地方創生」や「子ども・子育て支援新制度」をはじめとする消費税増収分を活用した社会保障の充実・安定化といった大きな動きがあるため、情報収集に努めるとともに、適切な対応を図ること。

3 予算編成過程の公開

予算編成における透明性の確保及び市民の参画を図るため、予算要求状況を公開するものであること。

4 予算編成日程

予算編成等の日程については、別途通知する。